

開催日

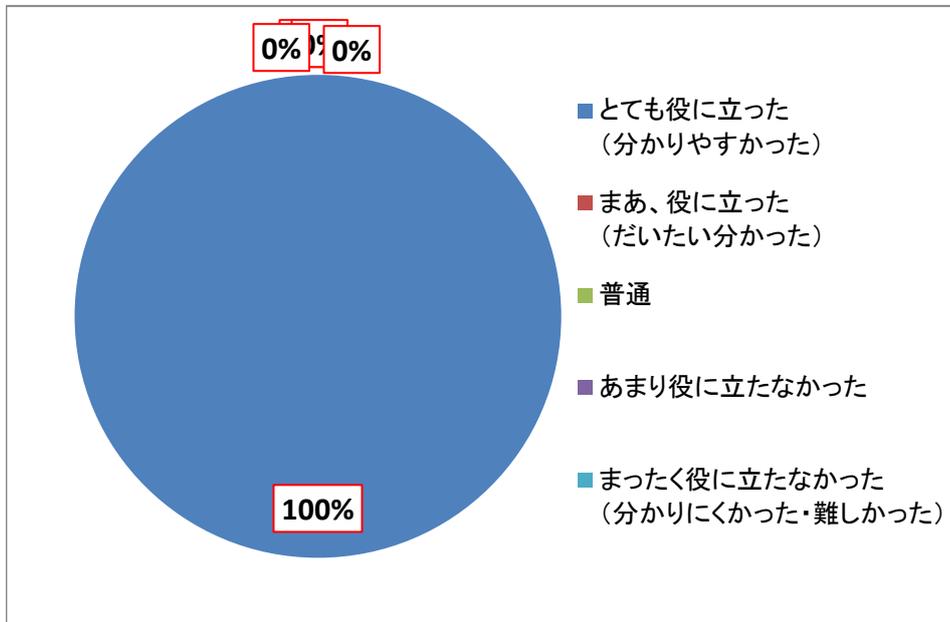
2024/5/7 テーマ 認知症と薬について

申込者 ひまわりハウス

アンケート結果

配布 12 件  
回収 11 件  
回収率 91.7%

評価	合計	
とても役に立った (分かりやすかった)	11	100%
まあ、役に立った (だいたい分かった)	0	0%
普通	0	0%
あまり役に立たなかった	0	0%
まったく役に立たなかった (分かりにくかった・難しかった)	0	0%
感想	11	
質問	0	
要望	0	



感想	※別紙
質問	
要望	

感想	認知症には4種類があり、認知症の種類によって、症状の進み方や原因によってちがう事を知りました。抗認知症薬には軽度から中度以上の薬があり、無気力と元気にさせる薬、活発な人を落ち着かせる薬がある事がわかりました。症状の進み方を見きわめて状態を把握し、認知症石井修認定薬剤師に伝え、医師に話せない事を代わりに伝えてくれる事は大変ありがたい事だと思えます。今回の講座はとても分かりやすく大変勉強になりました。
----	--

感想	今回の石井修に参加させて頂き、薬の種類、薬の早見についてとてもわかりやすく理解できました。自分達は介護士であり、以上の知識や食事介助を行いながら、いっという時代は終わり、今後は薬や病気の知識が求められる程度は勉強しておかなければならぬと感じました。また、医師や薬剤師の方々の忙し間接各所との連携が重要であることを再認識する事ができ、また自分の自身のコミュニケーション能力のスキルを上げなければならぬと思えました。
----	--

感想	物忘れと認知症の違い - 認知症は早くから治療した方がいっよか認知症の薬が4種類あり中には金錠剤でなくゼリー、舌にのせるシートがあるなど、肝臓、腎臓に悪い薬の種類や認知症の予防方法、おススメ食品、目とか耳が悪い人はホクヤなど、色々勉強になりました。教えてもらった情報を活用し仕事をしたいと思えます。
----	---

感想	認知症の薬は、治す薬は少ないが症状を遅らせる薬はある事は、知っていましたか。内服薬が4種だけだとは、知りませんでした。4種の薬の効果効能用法の違いと副作用がある為1Wから4Wまで状態確認しながら治療を進め、時には、Drに処方される事もあると聞き、情報共有の大切さを改めて思いました。入居されている利用者様の日々の体調、行動心の変化は
ご質問	※もつとお知りになりましたことなどが御座いましたらお書きください。後ほど回答をお届け致します。 ✓お忘れませんが、利用者様の日々の健康行動を行いたいと思っております。わかりやすく言葉での石井修していただき、ありがとうございました。

感想	与野は模範的認知症の利用者さんに対して、基本的な理解と声掛けの自分自身の向き合い方を振り返って、ぜひ自分も実践していきたいと思います。今回の研修、認知症認定薬剤師による薬の服薬に関する働きかけなどの内容を学ぶことができたので、利用者様に対する薬からの影響副作用を常に考えて、他職員と連携・相談をして、認知症や他の病気を抱えている全ての利用者様の理解と最善を尽くせるよう頑張ります。
----	--

感想	<p>今回認知症と薬というテーマでしたが、自分なりに仕事を通して、理解できていると思えていたのですが、深く認知症に対する考えや薬の活用法、内服時期、薬の種類等改めて学ぶ事ができました。又、認知症研修認定薬剤師とよめおな存在で、どんな働きをするのか等、はじめは、知り、今後は、活用したいと思いましたが、講習の内容もわかりやすく、質問等もしやすい状況でとても有意義な時間でした。仕事上、認知症の事と接する事が多い為、今回の学びでまた違った角度から状況の判断、考えが出来るよう努めていきたいと思えました。</p>
----	---

感想	<p>薬剤師ならではの観点から、認知症と薬の関わりについて解説していただき大変参考になりました。医師に対してうまく伝えられないことがあっても、薬剤師を通じて調整できるといった、裏ワザ的な活用方法などは、楽しくお話を伺えました。特に、認知症のタイプにより処方される薬の特徴や使い方も、医師に面と向かって聞きづらくないことなどについて、今後も疑問があれば気軽に問い合わせたいと思えます。</p>
----	---

感想	<p>とても身近な内容が、大変勉強になりました。全体的にとっても分かりやすかったです。その中で国内で使われるアルツハイマー型認知症の治療薬は4つにわか、抗認知症薬は行動を活発にするか、行動を抑えるか、そのみに調整を以て職員が正確にDrに伝えることが重要。薬局、薬剤師への相談も可能、とのことでした。自分の事に置き換えたとき薬剤師先生(Drより)身近に伝えやすく話やすくとても助かります。今回、核がわかりやすい資料を見せて頂き、ありがとうございました。</p>
----	---

感想	<p>職業上、認知症患者と接する為、認知症状態に対する知識はあるものの、「薬」に対する知識は浅く、「抗認知症薬」と「向精神薬」の種類と組み合わせ、又、認知症薬の用量、期間の説明など、普段深く聞くことば少ない話を講義することが出来ました。施設で生活する高齢者はどうしても、刺激がなくなるため認知症の進行を防ぐためには、軽めの運動や脳トレなど、余暇活動を増やす他、入居者様同士の交流を促すなど、普段の生活から見直さなければならないと感じました。</p>
----	--

感想	<p>認知症と薬についての研修をして頂きありがとうございました。認知症の症状によって薬が違い、服用によっては症状が悪化してしまう。又、国内の認知症の薬が4種類しかないという事を知りました。服用する薬によっては行動を活発にするか、行動を抑えるか、真逆になる為、Drへの報告は今の状況を正確に伝える事が大事になる。又、Drへ直接話す事が出来なかったり、薬剤師や薬剤師の方に相談できる事などもありがとうございました。認知症の進行を遅らせるのは、社会との接点との事だったので、出来るだけコミュニケーションをとりたいと思っております。</p>
----	--

感想	<p>家族が認知症かもしれないとある時、どの病院へ行ったらいいのか、ここからどうしたらいいのか、何も分からず、何もかも不安になる。そんな時、相談に乗ってくれる薬剤師の方がいることを知って、心強いことかと思えます。薬にしても、何種類あり、どう違うのかなど、知ることが出来ました。又、何か不安なことがある時は、いつでも私の所に来て下さい。とあって、いたっていいことか、ほんとうに嬉しく思いました。</p>
----	--